



17

さいたま市立病院

医師数（研修医除く） 171名（うち指導医数52名）
病床数 637床
研修医数 1年目14名 2年目14名
昨年度マッチング受験者数 132名
研修医の主な出身大学 秋田大学、山形大学、群馬大学、筑波大学、埼玉医科大学、慶應義塾大学、順天堂大学、帝京大学、東京女子医科大学、千葉大学、新潟大学、愛媛大学、長崎大学、大分大学、琉球大学、金沢大学、日本大学、宮崎大学、山口大学
診療科 内科、消化器内科、呼吸器内科、精神科、脳神経内科、循環器内科、小児科、新生児内科、外科、消化器外科、血管外科、呼吸器外科、整形外科、リハビリテーション科、脳神経外科、心臓血管外科、小児外科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、救急科、病理診断科、緩和ケア内科
1日平均外来患者数 1,051名
1日平均入院患者数 453名
主な認定施設 救命救急センター、地域周産期母子医療センター、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、災害拠点病院、日本医療機能評価機構認定病院

研修プログラムの特色



当院はさいたま市の基幹病院の1つであり、年間約7,000台の救急車の受入れを中心に、急性期医療、がん医療、周産期医療、地域連携（病診連携）に力を入れています。研修プログラムはプライマリ・ケアの基本的診療能力（態度、技能、知識）を身につけることを第一目標とし、さらに各自の到達度と希望に合わせて専門的知識、技術を習得できるよう柔軟なプログラムとなっています。一般コースの1年次は内科（26週）、救急（9週）、小児科（5週）、外科（4週）、麻酔科（4週）、産婦人科（4週）をローテートし、2年次は各自の希望に合わせた選択科を中心に内科、精神科、地域医療、救急をローテートします。2年間を通して内科系、外科系及び救命救急センターの日当直を行うことで、より実践的なトレーニングを積むことができます。また、研修医セミナーを毎週開催し、知識の整理や症例検討を行っています。その他、小児科希望者を対象とした小児科・成育医療コースを設けています。

さいたま市立病院初期臨床研修プログラム（一般コース／募集定員12名）

プログラム例	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週	
1年目	内科				救急				小児科		外科		麻酔科 産婦人科	
2年目	内科	精神科	地域	救急	選択									

内科：各専門科（循環器、呼吸器、消化器、脳神経、血液、腎臓・内分泌代謝）に分かれてローテートします。
地域医療：①石川県奥能登の4病院（珠洲市総合病院、公立宇津総合病院、市立輪島病院、公立穴水総合病院）でのへき地医療研修、②近隣診療所（医療法人明医研ハーモニークリニック）での研修、のいずれかの選択となります。
精神科：当院及び埼玉県立精神医療センターで行います。
外来研修：内科（2年次）ローテーション中に1週、小児科ローテーション中に1週、外科ローテーション中に0.8週、地域ローテーション中に1.2週、それぞれ並行研修で行います。
その他 さいたま市立病院初期臨床研修プログラム（小児科・成育医療コース／募集定員2人）

研修医の処遇

給与 1年次336,748円/月、2年次354,728円/月（地域手当を含む）
諸手当 賞与支給あり、通勤手当、時間外手当
保険 健康保険（埼玉県市町村共済組合）年金（厚生年金）雇用保険あり 労災保険 厚生年金基金等企業年金なし 医師賠償責任保険（病院において加入なし）
勤務時間 8時30分～17時15分
当直 あり（5回程度/月）
休暇 年次有給休暇（年10日）、夏季休暇等
宿舎 なし
その他 職員用駐車場あり、定期健康診断あり、白衣・スクラブ支給あり

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・医療法人明医研ハーモニークリニック
- ・埼玉県立精神医療センター
- ・珠洲市総合病院
- ・公立宇津総合病院
- ・市立輪島病院
- ・公立穴水総合病院

POINT! 当院の魅力

プライマリ・ケアを学ぶ！豊富で多彩な症例！ ～地域完結型医療の要として～

さいたま市立病院は、市民の皆様が安心して暮らせるさいたま市のシンボルとして、地域完結型医療の要となる病院です。人口133万人を有するさいたま市の基幹病院である当院は、プライマリ・ケアから各専門領域での高いレベルの医療まで幅広い医療サービスを提供しており、common disease から学会発表につながる稀な疾患まで豊富な症例を経験することができます。内科は消化器、循環器、脳神経、呼吸器、腎内分泌代謝、血液、膠原病、感染の各分野をカバーしており、外科は一般・血管外科、消化器外科、小児外科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科が高いレベルの手術を行っています。地域周産期母子医療センターを設置し周産期医療、小児医療にも力を入れています。救急医療では一次・二次救急に加え、令和2年12月に救命救急センターが開設され、幅広い疾患に対応しています。そのほか、緩和ケア病棟、精神科身体合併症病棟の設置など充実した医療設備を持ち、安心で安全な医療を提供しています。



研修責任者から



プログラム責任者
臨床研修管理委員長
神吉 秀明

当院の特徴は急性期病院であること、救急医療を重視していること、がん診療拠点病院であること、そして周産期医療を担っていることです。救急は一次と二次救急、救命救急センターがあり、救急車の受け入れ台数は年間約7,000台です。このような当院の診療内容は、初期臨床研修の目標であるcommon diseaseを多数経験し、primary careにおけるminimal requirementを習得するのにたいへん適しています。当院での2年間の研修により十分な臨床経験を積むことができ、医師としての基本的診療能力、姿勢や態度を身につけることができます。また、最新鋭の医療設備と医療機器が設置され、とくに救急医療の設備が充実しています。さいたま市立病院にはこのように臨床研修に必要な症例、設備、環境が整っています。医学生皆さん、さいたま市立病院で初期臨床研修をやりませんか。

先輩研修医から

研修医2年目 **安永 浩基**

当院のことでぜひお伝えしたいのは、「心地よい情熱を持った方が多い」ということです。どの科でも、私が困っていると上級医が優しく話かけて、一緒に解決策を考えてくださいます。そのため、自らアセスメントした内容を上級医に伝え、そのfeedbackをいただき、それを踏まえて次の一手を相談しながら考える、といったサイクルを繰り返しつつ知識を吸収していくことが可能です。当院は活発なコミュニケーションがしやすい環境が自然と築かれており、私自身も、研修医だから…と一歩引くのではなく、積極的にその輪の中に入っていき、患者の最善を目指して努力しています。



研修医2年目 **峯平 紗耶香**

当病院の上級医は教育熱心で優しい方たちばかりです。実臨床に役立つ知識を一から丁寧に教えてくれますし、まずは研修医からいろいろな手技をやらせてくれようとしてくださいます。自ら学びに行く積極的な姿勢だとより一層丁寧に教えてくれますが、最初に何もわからず戸惑っている中でも、「何か困っていることはない？」と気にかけてくださる先生が本当に多いと思います。私たち研修医が少しずつでも一歩一歩着実に前に進んでいるのは、病院全体として研修医を育てようとしてくださっている雰囲気のおかげだと思っています。



女性医師支援コーナー



- ・当院では0歳から6歳までの乳幼児を対象とした院内保育室を設置していますので、小さなお子様のいる方であっても働くことが可能です。
- ・年次有給休暇のほかに、出産休暇や小さなお子様のいる職員を対象とした保育時間などの特別休暇も整備されています。



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

・春休み、夏休みに病院説明会を開催しているほか、年間を通して個別病院見学を受け付けています。申込方法の詳細は当院ホームページ上に掲載しています。ホームページでは見学に際しての各診療科からのメッセージや研修医の声も掲載していますので、そちらも是非ご覧ください。

連絡先	さいたま市立病院 病院総務課 比嘉 巧
住所	〒336-8522 さいたま市緑区三室2460
T E L	048-873-4111 (代表)
F A X	048-873-5451
E-mail	hsp-jimukyoku-somu@city.saitama.lg.jp
U R L	https://www.city.saitama.jp/hospital/index.html
アクセス	J R北浦和駅からバス15分、浦和駅からバス20分、東浦和駅からバス20分

